

福祉でつながる。ひびきあう。新しい明日へ

Chidori

Vol.

23

2026
spring

認知症バリアフリー宣言



2025内定式 モザイク1F コンチェルト乗り場にて

特集

2025内定式

2025年10月、晋栄福祉会の内定式を開催しました！

研修旅行に行ってきました in 韓国

令和7年度の職員研修旅行で韓国に1泊2日で行ってきました。社会福祉法人晋栄福祉会では、毎年研修旅行を企画し、職員間の交流や知識の向上を図っています。昨年度からは、国内旅行とは別に韓国旅行を企画し好評を得たので、今年度は2班34名と人数を増やしました。1班には、あまだのみやちどりこども園の新卒4名が初参加！同期と共に、現地のガイドさんの案内で「異文化」に触れたり、普段関わることのない職員と交流したりし、充実した2日間を過ごすことができました。

非日常の中で、おいしい食事をいただき、韓国語飛び交う市場に出かけ、美容グッズを購入し大いにリフレッシュができ、「仕事を頑張ろう！」と思えた旅行でした。



KOREA

景福宮での集合写真

19:00

20:30

2 day

7:00

11:00

15:30

《夕食》サムギョプサル

チェックイン後
自由行動

《朝食》ホテル 国都

《昼食》カルビタン

アンニョン
離陸
日本へ



・本場のサムギョプサル
豚肉が分厚くてジューシーで
最高！



・一人ずつ自己紹介
違う職場の方々と楽しく
交流ができました。



・明洞の夜の街でお買い物
オリヤンに Daiso、
屋台と「じゃじゃーん」
買い物お披露目会
大満足！



・好きなインスタントラーメン
を選んで作る
インスタントラーメンマシーン



豪華な
ビュッフェ



お土産
いっぱい！



おいしいけれど、
もう食べられません！



Contents

- 4 特集
2025(令和7)年度内定者研修Report
2025年10月、晋栄福祉会の内定式を開催しました!
- 8 読者のコーナー
- 9 ちどりNEO
- 10 くんがいしょう
- 12 Chidori News
- 13 2026年法人実践研究発表大会
- 14 私の駆け出し時代・わたしのパワーフレーズ
- 15 広げようちどりの輪・編集後記

cover story

コンチェルト乗船場



社会福祉法人晋栄福祉会は令和7年10月1日、神戸コンチェルトで6年ぶりとなる船上内定式と懇親会を開催。内定者26名を含む総勢69名が出席しました。理事長の祝辞や証書授与、先輩との交流を通じ、内定者は春の入職に向け福祉専門職としての決意を表明。美しい夜景を背景に、絆を深める特別な門出の一日となりました。

韓国研修旅行タイムスケジュール

1 day

行ってきまーす

関西国際空港を9:55に離陸

12:00

アンニョンハセヨ

韓国到着

- ・入国審査後バスで移動
- ・ガイドの黄さんとの出会い

13:00

景福宮見学

- ・韓国の歴史的建造物 異文化にふれました

15:30

園長ともパチリ

- ・ツアーガイドの黄さん目印は 幸福の「ひまわり」 愉快で楽しい方でした。

17:00

《自由散策》梨泰院

- ・韓国ドラマ撮影地「梨泰院クラス」「ソジュンはどこ？」
- ・韓国プリクラも撮りました!
- ・日本とはちょっと違うゲームセンター

《昼食》ビビンバ

さっごく美味しそう!!

- ・野菜たっぷりのビビンバ! 辛さは自分で調整。辛いのが苦手でも大丈夫
- ・副菜はお代わり自由

特集

2025年度

内定者研修

& 内定式 Report

10月1日(水)開催

14:00~16:30

内定者研修 《神戸市産業振興センターにて》



私が
密着取材して
きました!



令和7年10月1日(水)、
神戸市産業振興センターにて、
2025年度内定者研修を実施しま
した。令和8年に入職を控える新
卒内定者のうち、保育部門22名、
高齢部門4名の計26名が参加
しています。



開会 少し緊張しています



あんたがたどこさ〜♪



仲良く相談中

研修は14:00から16:30
にかけて行われました。手遊び
で緊張もほぐれ、他己紹介を通じて
参加者同士が自然に交流できる時間と
なりました。続いて、法人の活動の原点
である理念「**DO FOR OTHERS (他者
への貢献)**」や、「**情熱をもち行動する**」
など5つの行動指針について理
解を深めました。

また、「2040年問題」として予測される社会課題（超高齢化、生産年齢人口の減少、少子化、人材不足の深刻化など）について共有し、社会福祉法人職員としての心構えに加え、「連携から越境へ」という新たな働き方の考え方を学びました。研修の締めくくりには、「成功しやすいのは才能よりも『運』に恵まれた人」という視点から、「自己理解 × 目標 × 試行錯誤」を“運の公式”として紹介し、参加者はこれからの働き方や自身の将来について考えるきっかけを得た様子でした。



皆さん、楽しく熱心に研修を受けていました。頼もしいですね!



他己紹介

研修後の内定者からは、「法人の理念や目指す方向性を具体的に理解できた」「同期との交流を通じて、不安が期待に変わった」といった声が寄せられています。



真剣に聞いている内定者の皆さん

16:30

内定式会場へ移動・乗船



内定式会場に乗船するよ!でもその前に…みんなで記念の集合写真!

17:00~18:45

内定式 《コンチェルト・トワイライトクルーズにて》 — 6年ぶりの船上開催！神戸コンチェルトで迎える未来の仲間たち —



同日夕刻からは、2025年度新卒内定者を対象とした「内定式および懇親会」を、神戸港を巡るクルーズ船「神戸コンチェルト」にて開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により船上での開催は見送られてきましたが、今回は2019年度以来6年ぶりの実施となり、法人にとっても内定者にとっても節目となる特別な一日となりました。新卒内定者26名に加え、濱田理事長をはじめとする法人関係者43名が出席し、総勢69名が一堂に会しました。夕暮れに染まる神戸港を背景に、内定者は「トワイライトクルーズ」という新たな船出のひとつを迎えました。

定刻の17:00、「ただいまより、令和7年度内定式を開会いたします」という司会者の言葉を合図に、船内には厳粛な空気が広がり、内定式が執り行われました。はじめに濱田理事長が登壇し、未来の仲間となる内定者への歓迎の言葉と、社会福祉を取り巻く環境の変化を踏まえた期待が述べられました。

開会の挨拶



理事長挨拶

続いて行われた内定証書授与では、保育部門、高齢部門の順に内定者一人ひとりの名前が読み上げられました。保育部門からは井上華奈さん、内方咲綺さんをはじめ21名、高齢部門からは安積恵子さん、岡心花さんら4名が呼名され、証書を受け取るその表情からは、社会福祉法人職員としての第一歩を踏み出す決意が感じられました。

よろしくお願
いたします!



内定証書授与

これから一緒に
楽しくがんばりましょう~



内定式終了後は、吉川
法人本部事務局長の乾杯の発声
をもって懇親会がスタートしました。
船内では、内定者と法人関係者がテー
ブルを囲み、料理を楽しみながら和やかな雰
囲気の中で交流が深められました。内定者
にとっては、同期となる仲間との親睦を
深めるとともに、各部門で活躍する先
輩職員から直接話を聞く貴重な
機会となりました。



乾杯！



にこやかに歓談中



懇親の途中には、先輩
職員からの激励の時間も設けられ、
保育部門からあまだのみやちどりこども
園の前田百葉さん、高齢部門から中山ちどりの
樫木真里愛さんが登壇しました。現場でのやりが
いや日々の学び、法人としての支え合いの風土につ
いて語られ、内定者へ温かく力強いエールが送られ
ました。これに応え、内定者を代表して、保育部門
の山下りかさん、高齢部門の片岡隼さんが謝辞を
述べ、入職後の具体的な目標や福祉専門職と
しての使命感、そして法人と共に成長し
ていきたいという強い意気込み
を表明しました。



ふむ



ふむ



閉会にあたっては、走谷ちどり保育園の宮澤園長より、内定者への歓迎
の言葉と、これからの法人を共に創っていく仲間としての期待が伝えら
れ、式典は温かな拍手の中で幕を閉じました。

最後には、参加者全員がデッキへ移動し、神戸の美しい夜景を背景に思
い思いに記念撮影を行いました。6年ぶりに開催された船上内定式は、
内定者一人ひとりが法人の一員としての自覚を深め、社会福祉の担い手
としての未来を見つめる、かけがえのない一日となりました。

法人職員一同、内定者の皆さんと来春、共に新たな一歩を踏み出せる日
を心より楽しみにしております。



私の

激推し

スイーツ



いちぶちどり保育園



濃甘古都華 (大和莓 6 FARM)

「あまりの大きさと甘さにびっくりです！」

あまだのみやちどりこども園



ふる一つ大福 (養老軒・阪神百貨店)

「大福と思って食べたら…中はケーキのよう！
幸せな気持ちになります。」

たかとりちどり保育園



りんご飴

(神戸市中央区にある
a la ringo cafe KOBE)



「食べたことのないようなりんごの甘味とコーティングされた飴がとても相性抜群です。」

東野田ちどり保育園



プレミアムチーズケーキ (成城石井)

「バイクドチーズケーキの中に、ローストアーモンドとレーズンが入っているのが特徴。中心にあるバイクドケーキの中はとにかくなっとりとした食感で濃厚な味わい。トッピングのシュトロイゼルがざくざくしていてほかの部分との対比がおもしろい。究極のチーズケーキと言えるのではないのでしょうか。お財布にやさしい価格が嬉しい。」

enjoy working!

職員紹介

今回は

中山ちどり
特養・ショートステイ
から



できたてごはんを準備中

Let's enjoy our work

中山ちどり
特養・ショートステイ
芦原・山代ユニット
はせき まりあ
樫木 真里愛 さん



介護職2年の振り返り

● 介護の質を深める

介護職として丸2年がたち、この一年は、その人に合わせたケアをより深めることができました。入職当初は自分のことで精一杯でしたが、仕事に慣れるにつれ、ご利用者一人ひとりの思いに寄り添いながら関わる余裕が少しずつ生まれてきました。小さな気づきの積み重ねが、ご利用者の思いに寄り添うケアにつながっていることを実感しています。

日々の食事介助では、普段の召し上がるペースや飲み込みにくいタイミングに気づくことができるようになり、声かけの仕方やペース調整をその方に合わせて行えるようになりました。

また、入浴や排せつの介助を嫌がられる方に対して、すぐにケアを行うのではなく、「まずは話を聞く・気持ちを受け止める・時間を置く」など、状況に応じたコミュニケーションを意識するようになりました。「どうして今はお嫌なのか」「どこに不安があるのか」を探りながら関わることで、スムーズに介助につながることも増え、関係づくりの大切さを実感しています。



そばにいることを大切に



● 人を育てる立場へ

さらに、後輩の育成を任されるようになりましたが、自分では当たり前前にできていたことを言語化して伝える難しさを何度も感じました。同時に、後輩の視点に触れることで、自分のケアを見直す機会にもなり、教えることは自分自身の学びにつながるということを実感しました。後輩ができることを一つずつ増やしていく姿を見るたび、大きなやりがいを感じています。

今後も、ご利用者に安心して過ごしていただけるよう、一つひとつのケアを丁寧に行い、仲間にとっても相談しやすい存在を目指していきたいと思えます。3年目はより視野を広げ、ユニット全体のチームケアの質が向上するように取り組んでいきたいです。



後輩へ熱血指導中!



みんなで考える、それが私たちのスタイル

ハレコぺちどり開店♪

萩の台ちどり

2015年から続く『ハレコぺちどり』はご利用者やスタッフの集いの場としてオープンした喫茶店です。

「ハレコペ」とは、ハワイ語で「コーヒーの家」を意味し、店内はハワイアンミュージックが流れ心地良い雰囲気の中、来店いただいたご利用者とスタッフで『ハレコぺちどり』を楽しんでいます。

開店日は年に3回(3月・7月・11月)で、2階のデイサービスルームを活用しています。キッチン前にカウンター席もあり喫茶店レイアウトには最適です。

メニューは、ドリップコーヒー以外に、ホットココアや甘酒、レモンスカッシュ、かき氷など季節に合わせたメニューを10種類ほどスタッフが考案し準備します。今回は季節限定の「さつまいもオレ」が大ヒットでした。

開店時間は午後1時30分、香り豊かなコーヒーとともに、萩の台ちどり集いの場『ハレコぺちどり』開店です。



初めてのお正月

灘六甲ちどり

灘六甲ちどりは、令和7年5月1日に事業譲渡されてから初めての正月を迎えました。

玄関には、しめ縄を飾り、エントランスや各フロアーには、鏡餅や凧など正月の飾りつけをしました。

元旦は、濱田理事長が来訪し、各フロアーをまわってご利用者と職員に新年のあいさつをしました。次に、施設長からご利用者全員にお屠蘇の振る舞いがありました。皆さま笑顔でお屠蘇を飲まれ、職員の新年のあいさつに「こちらこそよろしくお願ひします」と返してくださいました。

多くのご家族の面会もあり、穏やかな正月のひとつとなりました。

今年も気持ちを新たに、ご利用者、ご家族、地域の皆さまに信頼していただけるような施設運営をしてみたいと思いますので、ご支援、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



第2回中山台地域合同秋祭り!

大盛況となりました!

中山ちどり

令和7年11月29日(土)秋晴れの中、たくさんの地域の皆さまとご利用者・ご家族にご来場いただきました。

今年の屋台はベトナムの麺フォー、チュロス、ベビードッグ、『CoCo壱番屋』のカレー、『カフェ・ド・トーヨー』のポップコーンなどをお出ししました。輪投げやスーパーボールすくいも子どもたちに大盛況でした。イベントのフラダンス『Kalhea』のダンスが始まると太陽の光が差し込み、暖かな雰囲気に会場が包まれました。

法人理念のミッションのひとつ「すべては地域の人々の幸福と福祉のために」を体感した一日となりました。今後も地域の皆さまとともに作り上げるイベントを行ってまいります。



自分で握ったおむすび持って…

東野田ちどり保育園

毎年11月～12月に京都市動物園に遠足に行きます。例年おむすびはおうちの方に用意していただいていたのですが、今年は子どもたちで作ってみることにになり、数日前、練習もしてみました。

当日4、5歳児は出発前にお昼ごはんのおむすびを自分で握ります。年長は好きな味を選んだり、海苔アートにも挑戦しました。出来上がると出発です。

動物園に着くと早速おむすびを食べました。「塩昆布おいしい」「海苔でお顔作ったのにズレちゃっておもしろいかお～」と嬉しそうに話してくれました。

食べ終わった後、クラスで動物を見て回りました。子どもの気付きがたくさんあり、「なんでやる？」と探求心が生まれたことが印象的でした。

後日「おうちでもおむすび作ったんやで」「お母さんも僕がにぎったおむすび食べたいって言ってたからお休みの日に作ってあげるねん!」と少し得意気に教えてくれました。



やさしい秋のおくりもの

いちぶちどり保育園

毎年、秋の終わりにになると、地域自治会の皆さまが公園清掃の際に集められた落ち葉を園へ届けてくださいます。今年も色とりどりの落ち葉がたくさん届き、子どもたちは袋いっぱいの落ち葉に目を輝かせていました。

園庭に広げると、ふわっと漂う秋の匂いに「きれい!」「カサカサって音する!」と大喜び。手で舞い上げたり、雨のように降らせたり、寝転んでみたりと、思い思いに季節ならではの遊びを楽しみました。落ち葉一つひとつの形や色の違いに気づき、「これハートみたい」「赤いの見つけた!」と、発見の声があふれました。

地域の方々の温かいご協力のおかげで、子どもたちは自然に親しみながら豊かな経験を積むことができています。今後も、このつながりを大切に、地域とともに子どもたちの育ちを支えていきたいと思えます。



パッカー車のごみ収集体験

走谷ちどり保育園

走谷ちどり保育園は、枚方市の体験型環境学習プログラムに毎年参加しています。子どもたちは、この「幼児対象の環境出前学習」で、暮らしと環境の関わりについて、気づき、理解し、環境に配慮する気持ちと行動を身に付けています。

当日、実際に園に来たパッカー車の仕組みを見て、5歳児が代表で家から持参したごみを自分で積み込む、ボタンを操作するなどの体験をしました。その後、「いま清掃工場が困っていること」について紙芝居を通して学び、ごみを減らすためにみんなができる事として3つの約束をしました。
① 食べ残しをしない ② 遊んだ後はお片づけをして、ものを大事に使う ③ 仲間分けしてごみを出そう・捨てる前にもう一度考えよう!

このように、幼児期から環境に配慮することの大切さを考える機会として、これからも体験学習を続けていきたいと思っています。





ナーシングホーム智鳥

ゆめ伴サロンの詐欺被害防止への取り組み ～地域の安全を願って～

毎週金曜日の13時より、ナーシングホーム智鳥にて「ゆめ伴サロン」を開催しています。サロンでは、地域の皆さまやご利用者の方々とともに折り鶴づくりを楽しみながら、穏やかな雰囲気の中で和気あいあいと交流を深めています。

このたび、詐欺被害防止を願ってサロン内で制作した「折り鶴パネル」や「折り鶴ツリー」の取り組みが評価され、門真警察署より感謝状をいただきました。

授与式当日は、サロン参加者の皆さまとご利用者2名が出席され、感謝状を受け取られました。皆さま一人ひとりの温かな思いと積み重ねてきた努力の結晶であり、心から誇りに思います。今後も、サロン活動を通じて地域との交流を図り、地域に貢献できればと考えています。



高山ちどり

職員教育について

高山ちどりでは、施設全体で新人教育・救急救命講習・ヒヤリハット研修など重点的に行っています。

新人教育は、スライディングボード・床走行式リフトなどの使い方を先輩から後輩に個別指導しています。新人職員2名以上になった時点で腰痛にならないためにはどのような介護をすれば良いのかを考え、ノーリフティングポリシーを常に意識し取り組んでいます。

救急救命講習は、心肺蘇生の知識を生駒市の消防隊員を講師としてお招きしたり、おむつ研修は入居者にあつた当て方を習得するために事前に入居者の特徴とおむつの業者に伝えておむつの当て方について、定期的な職員数名が受講することでスキルアップを図っています。

ヒヤリハット研修は、法定研修以外でも気づきのあつた時点で研修を取り入れています。先輩から後輩へと研修を通じて話しやすい人間関係を作っています。

高山ちどりは、新人と先輩との距離の近い関係作りを目指しています。



〈保育施設〉

たかとりちどり保育園

京都～滋賀～福井へ 研修旅行に行ってきました！

たかとりちどり保育園・たかとりちどりキッズの職員が5班に分かれ参加しました。平等院鳳凰堂の見学に始まり、近江八幡で美味しい近江牛の昼食、自然いっぱいのラコリーナを散策した後は芦原温泉のホテルへ。夕食には地元の美味しい食材が並び、法人内の職員と楽しいひと時を過ごしました。2日目は紙漉き体験や『日本海さかな街』での昼食・買い物を楽しみ、盛りだくさんの1泊2日でした。

今年は初めて親子参加がOKということで、3歳児と参加したママ職員も。子どもが騒いだらどうしよう…と心配していたようですが、同僚からのサポートもあり、特別な旅となりました。「息子と同じ景色を見て美味しい物を食べて幸せな気分になったり、普段経験できない紙漉き体験をしたりすることができ、一緒に参加して良かったです！」同僚と親睦を深める良い時間を過ごし、その後の仕事のモチベーションアップにつながる研修旅行でした。



第18回 法人実践研究発表大会

- 未来に向けて「人財原石」を探そう -

2026(令和8)年2月23日(祝)、大阪国際会議場(グランキューブ大阪)において、「社会福祉法人晋栄福祉会 2025(令和7)年度 第18回法人実践研究発表大会」が開催されました。大阪、奈良、兵庫の各エリアから、約400名の職員が参集し、介護部門7本、保育部門8本の発表が行われました。

まず、長きにわたって法人の発展に寄与された方々に対し、永年勤続表彰が行われました。勤続10年23名、20年10名それぞれを代表して、神戸元町ちどり保育園 新村久美子園長、特別養護老人ホーム宝塚ちどり 阪上知之施設長が、濱田理事長より感謝状及び記念品を贈呈されました。

次に、2026(令和8)年4月入職内定者に対する辞令交付式が行われました。介護部門7名、保育部門32名一人ひとりに辞令が手渡され、式場は凛とした緊張感と、前途有望な若者たちの熱い想いに包まれました。

昼食休憩を挟み、介護、保育の各部門に分かれて、実践研究発表(分科会)が行われました。

続く基調講演では、濱田和則理事長より、自身の晋栄福祉会との歩みを振り返りながら、未来に向けて今なすべきことが提案されました。喫緊の課題である次世代、次々世代を担う人材の発掘および育成、登用を図るために、来年度の事業方針に「みがけば光るかもしれない人財を、まわりで探そう～人財原石発見プロジェクト～」を掲げることが宣言されました。

最後に、新福島ちどり保育園 富岡智美園長、ケアホームちどり 田中清史施設長による講評で、本日の成果を活かしつつ、次の大会に向けて、各事業所における実践研究をさらに深め合うことが確認され、満場の拍手のうちに閉会しました。



濱田和則理事長による挨拶



各エリアから多くの職員が参加しました



永年勤続表彰



濱田和則理事長による基調講演



大会終了後の懇親会

実践研究発表(分科会)

保育部門



今回より、発表数を8本に限定するとともに、持ち時間を増やして、発表内容をより充実させることにしました。データの差し替えのため、急遽発表順を繰り上げるアクシデントがありましたが、発表者や座長の臨機応変な対応により、予定されていたすべての発表を終えることができました。

「特色ある保育」「職場のコミュニケーションの拡充」「食育や防災の推進」「業務改善」「専門性の活用」など、どの発表も明日からの保育に大きな力をもたらす内容でした。

介護部門



介護部門分科会では7本の発表がありました。特別養護老人ホーム入居後、生活環境が大きく変化し、これまで持っていた意欲や存在価値を引き続き保持することは容易ではありません。今回の発表では日々の生活の中で、これまでの生活歴を引き出し、意欲や存在価値の保持に努めた発表が多くあり、今後の介護職の個別対応の実践が期待されるものでした。

また、中堅職員によるレジリエンス向上研修受講後の取り組みは、ストレスや困難に柔軟に対応できる力を育て、個人(介護職員)と組織(ユニットメンバー)の持続的な成長の支援を行っていくものです。この取り組みは現在のみならず、次世代の新しい介護職にも引き継がれていくべきものと考えます。

私の 駆け出し 時代



「チャレンジすること」

新福島ちどり保育園 富岡 智美

卒業後のはじめての仕事は幼稚園での勤務でした。男女雇用均等法の施行前のことですから、世の中の流れに従い結婚を機に家庭に入ったものの、保育の世界に戻りたい気持ちの日々を過ごす中で、その機会を得られたのが香港のインターナショナルスクールでの仕事でした。

日本人駐在員のお子さんを中心に、あらゆる国籍、人種のお子さんを、これまた多国籍、多人種の先生たちで教育する保育施設では、多様な対応を求められることが多く、少しばかりの経験や固定概念にとらわれた保育観では通用しませんでした。

柔軟な思考を持ち自然体で接する同僚たちの姿を見て、己のキャパシティの小ささを痛感させられた苦い記憶です。意気込んで臨んだ仕事であったはずなのに、自信は見事に打ち砕かれました。一から考え方を見直していくことは簡単なことではなく、行き詰まり模索を繰り返す私に「チャレンジ!」と励まし見守ってくれた同僚たち、その励ましのおかげで頑張れたと実感しています。

また、スキルアップのために年齢、職位を問わず研鑽を積んでいる同僚たちの姿を見て、年齢や環境を言い訳にせずチャレンジすることの大切さを学んだ、後の人生の土台を作ってくれた駆け出し時代の思い出です。

わたしの パークフレーズ

たくさんの人と関わり、たくさんの喜びが溢れる反面、うまくいかないことや反省することも多い福祉の仕事。このコーナーでは、心に響いた言葉とそれにまつわるエピソードを紹介します。

今回のフレーズ 「努力すればするほどその人らしい顔になる」

ケアホームちどり 早瀬 健一

私自身が高校時代に影響を受けた言葉で、当時の恩師が口癖の様に言われていたことが大きかったように思います。ただ、このフレーズを聞いた時、胸にストンと落ちる様な感覚であったことを今でも覚えています。

以後、学生時代の受験勉強の際や、部活動の辛い練習で心が折れかけた時や、晋栄福祉会入社後においても諦めそうになった時などに間違いなく自身の支えになってくれたフレーズです。

一説には、『人の表情には、長年の感情や思考が表情筋に影響を与え、顔のしわや表情の癖として現れるため、性格が顔に表れると考えられています。』とされています。

このことから、恩師は努力をすれば自然と自分らしい良い表情が出来上がってくると教えてくれていたのではと今では思っています。

まあ、自身が自分らしい顔になっているかと言われるればそこは謎ですが…笑

今後も努力を惜しまず、精進していきたいと思えます!



編集後記

今回の特集では、2025年内定式の様子をお伝えしました。法人理念である「DO FOR OTHERS (他者への貢献)」や「情熱をもち行動する」という想いを胸に、これから福祉の現場に歩み出す若い皆さんの姿に、大きな期待を感じています。保育や高齢者福祉は、人と人とのつながりを大切にしながら支え合う仕事です。内定者の皆さんの新しい感性とエネルギーが加わることで、法人の未来はさらに明るいものになるでしょう。職員一同、力を合わせ、より良い福祉の実現に向けて歩んでいきたいと思います。

また、今後も、皆様に親しみをもって楽しんでお読みいただける紙面づくりに努めてまいります。ぜひ、皆様からのご意見やご要望をお寄せください。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

広げようちどりの輪



テーマ 一日だけ〇〇になれるなら



ケアホームちどり
福森 香里



ナーシングホーム智鳥
石川 友代



中山ちどり
南村 亜里沙



高山ちどり
菊池 由佳



神戸垂水ちどり
古川 真澄 脇 仁美



萩の台ちどり
山内 亜希



北恩加島保育所
吉村 芳実



城東ちどり保育園
古澤 里奈



門真市立こども発達支援センター
土井 香里



神戸元町ちどり保育園
布野 若葉



御堂筋本町ちどり保育園
三浦 紋女



中之島ちどり保育園
中道 奈々美

社会福祉法人 晋栄福祉会
『Chidori』23号
2026(令和8)年3月発行

編集・発行責任者 濱田 和則
発行所 社会福祉法人 晋栄福祉会
(法人連絡先)
〒571-0026
大阪府門真市北島町14番28号
社会福祉法人 晋栄福祉会
TEL (072)881-8202
FAX (072)881-9505
E-mail home@chidori.or.jp
https://www.chidori.or.jp/
採用HP https://www.chidori.or.jp/recruit_chidori/

〔編集委員〕
一山 俊夫 萩の台ちどり
岩佐 俊英 法人事務局
岡本 理恵 たかとりちどり保育園
阪上 知之 宝塚ちどり
澤 静香 いちぶちどり保育園
新村 久美子 神戸元町ちどり保育園
東中屋 みどり ちどりケアマネジメント
山本 靖二 ナーシングホーム智鳥

本誌記載の所属は、
2026(令和8)年3月現在のものです。



大阪府	ナーシングホーム智鳥(特養、SS、DS、HH、訪問看護、CM) 〒571-0026 門真市北島町12番20号 TEL (072) 881-8201 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (072) 881-8115	大阪府	幼保連携型認定こども園 智鳥保育園 〒571-0026 門真市北島町14番28号 TEL (072) 881-3755 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (072) 881-9505
	茨田大宮地域在宅サービスステーションちどり(HH、DS、ランチ) 〒538-0031 大阪市鶴見区茨田大宮3丁目8番33号 TEL (06) 6914-7711 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (06) 6914-7100		●門真市地域子育て支援センター(業務委託) TEL (06) 6904-8601
	くすのき介護センター市役所前(HH) くすのき介護相談センター(CM) 〒571-0055 門真市中町11番96号 TEL (06) 6902-8666 最寄駅 京阪本線「門真市駅」・「古川橋駅」 FAX (06) 6902-8663		幼保連携型認定こども園 東野田ちどり保育園 〒534-0024 大阪市都島区東野田町4丁目15番20号 TEL (06) 6358-1415 最寄駅 JR環状線・東西線・京阪本線「京橋駅」 FAX (06) 6358-1485
	大和田ちどり(小規模多機能ホーム・地域密着型認知症通所介護) 〒571-0079 門真市野里町26番17号 TEL (072) 883-0071 最寄駅 京阪本線「大和田駅」 FAX (072) 883-0086		●東野田ちどりキッズ TEL (06) 6925-1577
	サテライト型サンハウス北島(デイサービス) 〒571-0026 門真市北島町12番16号 TEL (072) 887-0117 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (072) 887-0118		●東野田ちどりキッズ庁舎内 TEL (06) 6358-8008
	門真第4地域包括支援センター(業務委託) 〒571-0026 門真市北島町12番20号 TEL (072) 887-6540 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (072) 887-6541		●OMMちどりキッズ TEL (06) 6232-8105
	大阪市鶴見区西部地域包括支援センター(業務委託) 〒538-0051 大阪市鶴見区諸口6丁目1番13号 TEL (06) 6913-7878 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「横堤駅」 FAX (06) 6913-7888		幼保連携型認定こども園 城東ちどり保育園 〒536-0021 大阪市城東区諏訪3丁目6番33号 TEL (06) 6167-3755 最寄駅 地下鉄中央線「深江橋駅」 FAX (06) 6167-3855
	ケアホームちどり(特養、SS、DS) 〒571-0038 門真市柳田町15番23号 TEL (06) 6991-8361 最寄駅 京阪本線「古川橋駅」 FAX (06) 6991-8362		●城東ちどり保育園ちどりキッズ TEL (06) 6965-0505
	宝塚ちどり(特養、SS、DS、HH、GH、定期巡回、CM) 〒665-0047 宝塚市亀井町10番30号 TEL (0797) 73-0880 最寄駅 阪急今津線「逆瀬川駅」・「小林駅」 FAX (0797) 73-0890		幼保連携型認定こども園 中之島ちどり保育園 〒530-0045 大阪市北区天神西町3番16号 TEL (06) 6362-3755 最寄駅 地下鉄谷町線「南森町駅」・JR東西線「大阪天満宮駅」 FAX (06) 6362-3766
	中山ちどり(特養、SS、ケアハウス、DS、HH、GH、訪問看護、小規模、定期巡回、CM) 〒665-0877 宝塚市中山桜台1丁目7番1号 TEL (0797) 82-0201 最寄駅 阪急宝塚線「中山観音駅」・JR宝塚線「中山寺駅」 FAX (0797) 82-2525		●中之島ちどりキッズ TEL (06) 6926-4467
宝塚市立養護老人ホーム 福寿荘(指定管理) 〒665-0825 宝塚市安倉西3丁目1番5号 TEL (0797) 86-3096 最寄駅 阪急今津線「逆瀬川駅」 FAX (0797) 86-7929	幼保連携型認定こども園 あまだのみやちどりこども園 〒576-0031 交野市森南2丁目15番1号 TEL (072) 892-1351 最寄駅 京阪交野線「河内森駅」・JR学研都市線「河内磐船駅」 FAX (072) 892-1460		
宝塚米谷ちどり(ケアアロソソ) 〒665-0831 宝塚市米谷2丁目4-24 TEL (0797) 87-8211 最寄駅 阪急宝塚線「清荒神駅」 FAX (0797) 87-8212	御堂筋本町ちどり保育園 〒541-0058 大阪市中央区南久宝寺町2丁目6-7 TEL (06) 6282-3888 最寄駅 地下鉄御堂筋線・中央線「本町駅」 FAX (06) 6282-3800		
神戸垂水ちどり(特養、SS、ケアハウス、DS、CM) 〒655-0016 神戸市垂水区高丸6丁目7番2号 TEL (078) 786-3755 最寄駅 JR山陽本線「垂水駅」・山陽電車「山陽垂水駅」 FAX (078) 708-5037	新福島ちどり保育園 〒563-0006 大阪市福島区吉野1丁目5番1号 TEL (06) 6136-8660 最寄駅 JR東西線「新福島駅」・大阪環状線「野田駅」 FAX (06) 6136-8645		
灘六甲ちどり(特養) 〒657-0011 神戸市灘区鶴甲1丁目4番21号 TEL (078) 862-6865 最寄駅 阪急神戸線「六甲駅」 FAX (078) 862-6866	走谷ちどり保育園 〒573-0063 枚方市走谷1丁目1-10 TEL (072) 846-2835 最寄駅 京阪本線「光善寺駅」・「枚方公園駅」 FAX (072) 800-1750		
高山ちどり(特養、SS、DS、CM) 〒630-0101 生駒市高山町8030番地 TEL (0743) 70-1832 最寄駅 近鉄けいはんな線「学研北生駒駅」 FAX (0743) 71-2083	東中本保育所(運営委託) 〒537-0021 大阪市東成区東中本2丁目3番16号 TEL (06) 6981-0208 最寄駅 地下鉄中央線「緑橋駅」 FAX (06) 6981-0130		
高山ちどり別館(特養、SS) 〒630-0101 生駒市高山町8030番地 TEL (0743) 70-1011 最寄駅 近鉄けいはんな線「学研北生駒駅」 FAX (0743) 71-2083	北恩加島保育所(運営委託) 〒551-0031 大阪市大正区泉尾7丁目14番2-108号 TEL (06) 6553-5521 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線・JR「大正駅」 FAX (06) 6553-5521		
グループホーム高山ちどり 〒630-0101 生駒市高山町8030番地 TEL (0743) 70-1832 最寄駅 近鉄けいはんな線「学研北生駒駅」 FAX (0743) 71-2083	門真市立こども発達支援センター(指定管理) 〒571-0025 門真市大字北島546(門真市民プラザ内) TEL (072) 883-1680 最寄駅 地下鉄長堀鶴見緑地線「門真南駅」 FAX (072) 800-7300		
萩の台ちどり(特養、SS、DS) 〒630-0224 生駒市萩の台3丁目1番8号 TEL (0743) 76-2211 最寄駅 近鉄生駒線「萩の台駅」 FAX (0743) 76-2550	川面ちどり保育園 〒665-0842 宝塚市川面3丁目24番13号 TEL (0797) 26-8156 最寄駅 JR宝塚線・阪急宝塚線・今津線「宝塚駅」 FAX (0797) 26-8157		
グループホーム香分町ちどり サポートハウス香分町ちどり 〒630-0222 生駒市香分町83番2 TEL (0743) 76-1000 最寄駅 近鉄生駒線「一分駅」 FAX (0743) 76-1001	たかとりちどり保育園 〒654-0026 神戸市須磨区大池町5丁目10番15号 TEL (078) 732-2500 最寄駅 JR神戸線「鷹取駅」 FAX (078) 732-2520		
	●たかとりちどりキッズ TEL (078) 739-5051		
	神戸元町ちどり保育園 〒650-0012 神戸市中央区北長狭通8丁目5番5号 TEL (078) 341-5580 最寄駅 阪神「西元町駅」・JR神戸線「神戸駅」 FAX (078) 341-5581		
	幼保連携型認定こども園 いちぶちどり保育園 〒630-0222 生駒市香分町83番87 TEL (0743) 76-2400 最寄駅 近鉄生駒線「一分駅」 FAX (0743) 76-2401		
	●いちぶちどりキッズ TEL (0743) 76-0700		
	●いちぶちどりキッズたにだ TEL (0743) 85-5118		